男鹿南中学校 校報　＜学校教育目標＞　夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 生徒の育成　令和５年６月１日号

こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-
校報通算　第277号

東京から男鹿を見つめて

４年ぶりに首都圏へ、修学旅行に行ってきました！

令和５年度　修学旅行テーマ
Best memories ～学んで 遊んで 食べまくる～

校 長　森 山 直 人

旅の様子をお届けします。

春の爽やかな風に乗って、３年生は２泊３日の修学旅行に行ってきました。

Day 1　5/10(水)　学校→飛行機(JAL162)→浅草→東京スカイツリー→ライオンキング→ホテル（赤坂）

Day 3　5/12(金)　ホテル→国会議事堂→中華街（肉まん・餃子づくり）→飛行機(JAL165)→学校

Day 2　5/11(木)　ホテル→国立科学博物館・上野動物園→東京ディズニーランド→ホテル

自分の目で見て、手で触れて、足で歩いて、全身で感じて、抱えきれないほどたくさんの思い出とともに男鹿に帰ってきました。３日間よく学び、よく遊び、思いっきり食べて、旅のテーマを達成することができました。

修学旅行と“男鹿南ぐろおがる”

今回の修学旅行は、自主性、協調性、社会性を育むことはもちろんのこと、「*男鹿南ぐろおがる」との関連から、首都圏での体験を通して男鹿を見つめるという目的がありました。３年生の振り返りには次のような意見や感想があり、今後のNS-net（総合）の学習課題につながりそうです。

＊「男鹿南ぐろおがる」とは、男鹿南版ふるさとキャリア教育の総称です。　詳細は「こだま4月号」や本校HPをご覧ください。

◎首都圏に行ったからこそ気付くことができた「男鹿のよさ」

- 東京は創り出す、男鹿はありのままという感じがする。
- 人工物ではない大自然を感じられる。
- 地域の人とコミュニケーションをとることができる。地域のみんなで支え合っている。
- 人は少ないけれど、挨拶をしたらみんなが返してくれる。
- 川や海の色が東京は緑だけど男鹿は青い。空気が澄んでいる。
- 男鹿の方が東京より住みやすいだろうと思った。
- 都会疲れした頭に優しい魚　　など

◎首都圏での体験を通して考える「これからの男鹿」への願い

- 他県や外国の人に男鹿の魅力をもっと知ってほしい。
- 男鹿への移住者や観光客を増やしたい。
- 男鹿にも誇れるところはたくさんあるのだから、もっと人口を増やしたい。
- 男鹿は自然が一番のアピールポイントだと思うから、海岸や道ばたのゴミをなくしていきたい。
- 全国のバラエティー番組に使われるといい。
- 空き家をなくしたい。余っている土地を有効活用したい。
- 仕事ができる施設を増やしたい。そうすれば人も増えそうだ。
- もっと若い人が遊べる場所があるといい。
- 電車の本数がもっと増えるといい。
- このままを続けていってほしい。　　など

◆◇◆R5男鹿南ぐろおがる・3つのキーワード◇◆◇

1 男鹿で学ぶ（授業で）　2 男鹿に生きる（総合で）　3 男鹿に貢献する（地域貢献で）